

子宮頸がん
20~30代に
急増中!!

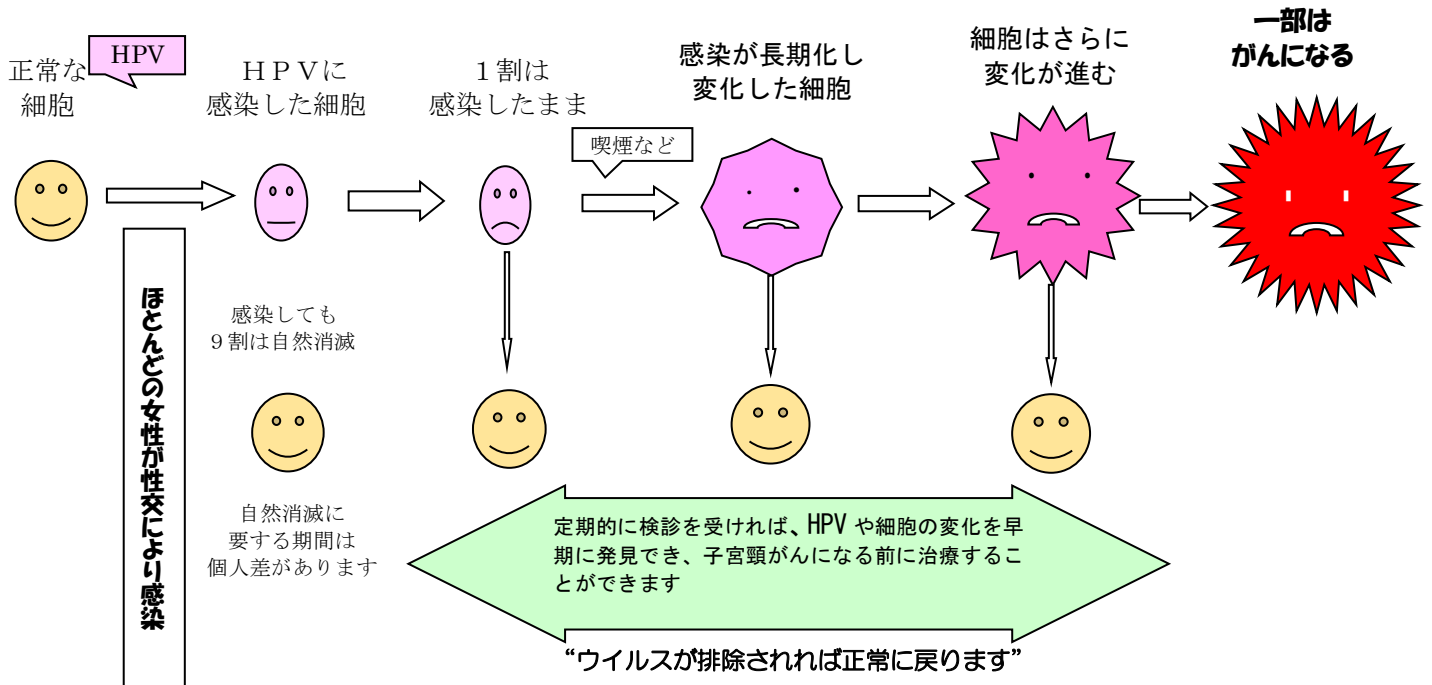
検診を受けて 子宮頸がんを予防!



え?若いひとでも
がんになるの?

子宮頸がんの原因である HPV (ヒト・パピローマ・ウイルス) は性交経験のある女性なら、一度はかかるありふれたウイルスです。感染しても多くの場合は自然消滅しますが、約1割は感染が長期化し、がんになる可能性があります。

正常な細胞が“子宮頸がん”になるまでの経過



子宮頸がん検診はどんな検査をするの?

○細胞診検査

子宮の入り口の表面から取った細胞を顕微鏡で調べる検査です。綿棒くらいの小さな道具で、軽くこすって細胞を採取するので、検査は1分程度で終わります。痛みもほとんどありません。

○HPV検査

細胞診の残り材料(細胞)でウイルスが消えたかどうかを調べます。

★細胞診検査とHPV検査を一緒に受けると、非常に精度が高く、子宮頸がんになる前に発見・治療できます。

- ① 不正出血がある場合は早めに医療機関へ受診しましょう。
がん検診で要精密検査と診断された方は必ず医療機関で精密検査を受けましょう。